



おいしいお店がいっぱい

ハロウィンムード
いっぱいの百年塾
フェスタ2015は
たくさんの子ども
たちで賑わいました。



みんなで踊るひたち舞祭



上手に回すフラフープ



ダンボールのイスが出来たよ



お気に入りを探して キラ★キラまるしえ

【122号の主な内容】

- 百年塾フェスタ2015 ······ 2
- フェスタボランティアから指導員に ··· 2
- コミュニティ訪問 大みか学区 ······ 2
- 写真展と国際絵画展 ······ 3

- シリーズ 私のお気に入り ······ 3
- 協賛金協力者 ······ 3
- 日立を元気にしたい!「コクリ工」 ··· 3
- 合言葉は「野菜をたべよう350」 ··· 4
- 市民教授、まち案内人紹介 ······ 4

百年塾フェスタ2015

ハロウィンでみんながひとつに

10月4日、秋晴れの空のもと新都市広場やマーブルホール、シビックセンター・ギャラリーなどを会場に「百年塾フェスタ2015」が開

子どもたちに夢を与える、子どもから大人まで、たくさんの市民が楽しめるフェスタにと、百年塾では毎年工夫を重ねてきました。

新都市広場では動物とふれ合える「かみねミニ動物園」やセラピードッグをはじめ、けん玉や竹とんぼ、ベーゴマ、射的など家族で楽しめる懐かしい遊びで賑わいました。

マーブルホールでは、紙芝居や人形劇など趣向を凝らした「いきいき子ども劇場」、百年塾推進園・校やコミュニティ（今年度は南部の7地区）のパネルでの活動紹介、ものづくりや健康相談コーナーなど、「遊んで、学んで…」のテーマらしく、市民教授や各種団体によるさまざまな展示や体験コーナーが並びました。

また、「祭り」の楽しさも多く



神永実行委員長の開会宣言

催されました。「遊んで、学んで、ひたちの“いいね”」をテーマにハロウィンのスタイルも加え、みんなが楽しめるフェスタとなりました。

取り入れようと、今年は会場内をハロウィンで統一。マーブルホールには写真撮影の人気スポットになったハロウィン城をはじめ、百年塾のスタッフも思い思いの扮装でムードを盛り上げます。今年の目玉「ハロウィンパレード」では、子どもたちに大人気のご当地キャラがステージに勢ぞろい。続く「ようかい体操」は小さな子



もたちが大勢飛び入り参加し、会場から大きな拍手が沸き起こりました。行列を成したパレードには親子をはじめ大人だけの参加も多くあり、今後フェスタの名物となる予感がしました。

大人と子どもが共に楽しさや達

シリーズ コミュニティ訪問⑨ 大みか学区コミュニティ推進会

市内23学区の中で唯一、小学校と同じ敷地にある大みか交流センターに村山会長、大上事務局長を訪ねました。



交流センター内に図書室があることで、普段から小学生とセンター職員のふれあいが多く、この日も子どもたちが元気にあいさつをしていました。

同コミュニティ推進会は「明るく住みよい福祉のまちづくり」をめざしており、地域活性化のため、住民が協力して数多くのイベントや事業を実施しています。中でも8月に開催される「大みか祭り」は最大のイベントで、駅前の通りを会場に盛大に行われます。

今年は8月22日に幼稚園・保育園、小・中学校、自主グループや企業、団体がそれぞれに吹奏楽、バンド演奏、ダンスや舞踊、そして歌を披露、お店も約200店舗が軒を連ねて賑わいました。夕方頃からは神輿がねり歩き、やぐらを囲んでみんなで盆踊りをして幕を閉じました。

この事業は地域の商店、銀行、企業、大学も協賛、地域がまさに一体となって実現しています。

成感を共有できるようなフェスタにしたいとの百年塾の思いは、参加の人たちや団体はもとより、毎年フェスタを盛り上げてくれる中・



5億年前の石をどうぞ

高校生や大学生、市役所職員ボランティアなどたくさんの人たちの連携と協力で確実に実を結びつつあるようです。

フェスタボランティアから指導員に

茨城キリスト教大学4年生の坂本美穂さんは、昨年の百年塾フェスタにボランティアとして活躍しました。

坂本さんは多賀高校の時代にもボランティア部に所属し、フェスタに参加しています。そうしたことが縁となって、今年から「日立市職業探検少年団」の一つメディア探検少年団の指導員にと声がかかり、活動を始めました。



取材の指導をする坂本さん(左)

少年団では、的確な指導はもとより、坂本さんの優しく温かな人がらと、学生ならではの子どもたちに近い目線で接していることで、団員たちのお姉さん的な存在にもなって慕われています。

ボランティアの勉強のため海外にも行くなど、坂本さんの真摯な姿勢は子どもたちの心の成長にも大きな役割を果たしています。

まちへの思いを作品に！ 写真展と絵画展 明日の世代を育てるプロジェクト

住みたいまち日立写真展

今年もシビックセンター1階ギャラリーで住みたいまちの写真展が開催されました。子どもたち



身近な風景写真に思わず感嘆

の活発なさまやほほえましいお寄りの姿、自然の織りなす郷土の美などの力作70点の応募作品が展示されました。

シリーズ 私のお気に入り

心安らぐ池の川弁天様 成沢鹿島神社

我が家から歩いて4、5分のところに弁天様を祀ってある小さな湧水池があります。

そこは、成沢鹿島神社南側の竹



せせらぎに心いやされて

林や木々に囲まれた静かな場所にあります。その敷地内には成沢

まちへのラブレター国際絵画展

同時開催のラブレター絵画展は、市内の小・中学生が描いた“いいね”33点が展示され、あわせて国際親善姉妹都市ニュージーランド・タウランガ市の子どもたちから寄稿された26点の作品も紹介されました。子どもたちの素直な気持ちを表現した手紙と楽しい絵が好評でした。今回の応募作品は後日タウランガ市でも展示が予定されています。

【写真展】大賞：丹野



写真展「大賞」



国際絵画展「市長賞」

小学校の前身である水漏舎小学校跡の碑がひっそりと立っています。訪れる人はほとんどいません。

湧水池から流れ出るせせらぎの音、そして時がゆっくりと流れる静寂の中に身をゆだねるとなぜか心安らぐのです。

(中成沢町 伊藤修一)

海を見おろす散歩道 大久保町～石名坂町の山側道路

太平洋を見下ろす山側道路は夏を過ぎた今頃の季節はランニングに最適です。道路は車道と歩道や自転車道路に完全に分離されてるので安全で、車道は通行量も比較的多く一人でも寂しくありません。この道路は年金者が多く利用

していることから通称「年金道路」と呼ばれているそうです。

愛犬の散歩でのんびり歩いている人や、連れ立って歩いている人など、それぞれのライフスタイル



絶景を眺めながらのジョギング

に合わせて、散歩を楽しんでいました。疲れて見おろす広大な海は爽快そのものです。

皆さんも健康と気分転換に一度歩いて見てはいかがでしょうか。

私たちが百年塾運動を応援します

2015.6.8～10.4（敬称略）

【団体】

藤和建設(株)、(株)ゆなご教材舎
日立市建設業協会、(株)白土工務店
(株)日青プランツ、百番食堂
(株)日立ライフ、日立土木(株)
日立高速印刷(株)、(株)J W A Y
(社)茨城県日立市医師会
エグチコーポレーション
三菱日立パワーシステムズ(株)
日立北ロークリークラブ
(株)日立製作所
日立化成(株)、日立金属(株)
日立アプライアンス(株)

【個人】

木村邦男 菊池武士 面川道宏
野崎一 渡部八郎 小松弘二
中嶋繁雄 鹿野和夫 高橋久人
行田綏子 阿部和宏 斎田節子
田畠幸三 対馬幸悦 沢村道男
平井幹男 尾沼信義 関敏夫
黒澤秀子 和田克夫 桑名勇児
政井信子 佐藤禮子 菊池幸子
渡部正敏 藤田鎮男 佐藤福次郎
柴田百恵 川崎洋子 斎藤隆子
西内博 小田切亘 佐藤朝勝
今村温 豊田ハマ 伊藤喜美子
田所義明 石塚猛 高山セツ子
紀本恵子 打川栄子 塚本久美子
龍田郁子 坂入瑞子 門馬正和
豊田敏正 大町力雄 鈴木米征

大沢正子 隆珠美 桑原洋子
山中秀子 飛田達雄 永山幸子
塚本裕宥 和田智子 福地隆
石川正之 熊谷京子 小池喜美子
鈴木和子 田中宣子 田村久
西原功 海野洋衣 山田啓子
阿部勝司 園原愛子 蝶田孝子
今橋知江 山田成 須田久美子
白石知子 上瀬わか 塩田正子
塩田裕子 廣木英子 田島マスミ
藤井敏子 矢代克己 伊藤真由美
柄澤森二 大越典一 後藤登喜雄
斎藤直子 野田順子 後藤恵美子
小松博子 高橋文子 富岡かず恵
久保春江 朝日正子 佐藤純子
仙波嘉織 國府田ヒロ子

日立を元気にしたい!

地域貢献型シェアハウス『コクリエ』

今年3月より入居が開始された大みか町の『コクリエ』は、多くの仲間や地域の人たちと共に創る(Co-Creation)を意味するシェアハウスで、学生と地域の経営者との交流などを通して相互の理解を深め、地域と地域に住む人を元気にする活動の拠点づくりを目指しています。

代表者の三ツ堀裕太さんは、「学生の多くが、住んでいる地域のことを知らずに学生生活を終えて他の地域に就職します。地元の企業を知り、地域貢献活動に取組みながら、幅広い経験を積み、その先に『住

みたい』と感じてもらえるような仕組みづくりをしていきたい」と話します。

実際に自身も住みながら、管理を担う社員の飯田早菜江さんは、



仲間が集うリビングの飯田さん

「シェアハウスは寂しさや不安を解消でき、新しい出会いが嬉しい」と話します。地域との繋がりとして『コクリエ』でカフェを開き、学生と地元の経営者が集まり、地域貢献の活動について意見交換などを

新市民教授インタビュー

高口定雄さん (地名で楽しむ古代茨城)



茨城と大和を結ぶ古代地名のロマン

自分の名前が珍しく、全国の地名を調べるようになったという高口さんは古墳時代以前の地名発掘へと進展したそうです。例えば日立市諏訪町にあった黒目という地名は全国の鉱山や玉作遺跡、古墳の近くにあり、古墳時代に鉱物資源を求めて大和から全国に広がったものでした。茨城にある地名遺跡を紹介し、将来、これらを巡る観光ルート作りを提案したいと話します。

日立のまち案内人インタビュー

面川道宏さん

友好・親善都市の交流深化をめざして

茨城キリスト教大学で開催された講座「日立市の歴史を学ぶ」へ参加がまち案内人になったきっかけで、市内の観光名所の案内をやってきました。

今年は親善都市の桐生の繊維織物工場等を案内、一行は畠の作業場に時代を感じたそうです。10月には友好都市の山形県の山辺町を訪れます。今後、友好・親善両市町との相互交流をさらに深めたいと考えているそうです。



新市民教授登録

2015.6月~9月に登録の方(敬称略)

■高口定雄 本宮町
(地名で楽しむ古代茨城)

■柏木仁男 相田町 (LINEスタンプ作成、無理なく家計見直し)

■上瀬わか 森山町 (和裁)

■百年塾サロン(窓口)では以下の業務を行っています

- 推進委員の受付
- 市民教授の登録
- 講座・講演の受付
- 市民教授の紹介
- 生涯学習に関する相談

■ひたち生き生き百年塾推進本部 事務局

日立市教育委員会 生涯学習課 ☎0294(23)9150 FAX 22-0465

百年塾サロン ☎0294(23)9165 FAX 24-5200

〒317-0064 日立市神峰町 1-6-11 日立市教育プラザ

ホームページ <http://www.net1jway.ne.jp/iki100j/>

E-mail iki100j@net1jway.ne.jp

しています。

『コクリエ』が若者定着の一助になることを期待し、応援します。現在、入居者を募集しています。問い合わせは(株)ユニキャスト(☎0294-87-6491)まで。

合言葉は「野菜をたべよう350」

日立市健康づくり推進課

皆さんは、1日に野菜料理を何皿食べていますか?

国は、生活習慣病予防や成長期に必要な栄養素「ビタミン・ミネラル」を多く含む野菜料理を1日に350g(小鉢5皿分)食べることをすすめています。

日立市の調査では、野菜料理を1日に「1~2皿分しか食べてない」「ほとんど食べない」との回答が65%と、野菜不足の方が多いことがわかっています。

1日の目安は、野菜料理5~6皿分!



※幼児は4皿くらいを目安にとりましょう。
10歳以上は大人と同じ5皿分が目安です。

野菜や海藻は、食物繊維を多く含んでいて、コレステロールや中性脂肪、血糖を下げ肥満の予防にも効果的です。またビタミンは抗酸化作用もあり、老化防止に役立ちます。

野菜サラダだけでなく、炒め物・煮物・蒸し物・スープなどで食べやすく調理して1日に350g(5皿分)を食べましょう!!

「百年塾ひろば」は小・中学校に配布のほか、公共施設等においてあります。

家族やご近所、知り合いの人みんなで見てください。